

JPIC NEWSLETTER

通巻 228 号

2021 年 12 月 9 日

Live at Bookstore 福岡・ブックスキューブリックで 記念イベント開催

2020年秋、古典新訳文庫の創刊編集長、駒井稔さんをホストに8人の翻訳者をゲストに迎えて行われた8夜連続オンラインイベント『私が本からもらったもの』（主催：JPIC）が、今秋、福岡の書肆侃侃房より出版されました。

これを記念して、11月20日（土）ブックスキューブリック箱崎店（福岡市）で駒井さんと担当編集者の藤枝大さんによるトークイベントを開催。多くの企画を展開してきたブックスキューブリックですがコロナ禍により、この日は久々のイベント開催。同店代表の大井実さんからは「本好きの方に実際にお集まりいただく臨場感を久しぶりに堪能しました。やはりライブのよさは替えがたい、店にも活気を与えてもらえました」との感想が寄せられました。



感染症対策の施されたブックスキューブリック カフェにて

JPIC ONLINE 11月の講座

11月は子ども部3回、大人部3回の計6回を開催。

20日には季刊誌『この本読んで！』との連動企画「『この本読んで！』学びの時間」第3回では、医療の必要な子どもと関わるCLS（チャイルド・ライフ・スペシャリスト）の天野香菜絵さんに、現場でどのように絵本を活用しているかお話しいただきました。

他にも定期開催の絵本アワーをはじめとして、和氣正幸さん連続講座の最終回、今井むつみさん（慶應義塾大学教授）や、亀山郁夫さん（名古屋外国語大学学長）による連続講座など多彩なプログラムとなりました。JPIC ONLINEは賛助会員には無料でご参加いただけます。今後の予定はJPICのHPをご覧ください。

多くの自治体採用を目標に 「20歳の20冊」

著名な執筆陣5名が各3冊、そこに自治体を選んだ5冊を加えて制作する「20歳の20冊」。2021年度は

北海道剣淵町、宮城県利府町、神奈川県横浜市が新たな採用に至りました。

剣淵町は「けんぶち絵本の里大賞」に選ばれた5冊、利府町では町長、教育長が選んだ2冊に町の図書館が選んだ3冊、横浜市では成人式実行委員会を選んだ5冊を自治体のページに採用。2022年度は、自治体色が出せる地域の読書活性化の新たな起爆剤として、より多くの自治体に採用されるようアピールします。

「子どもたちを物語の世界へ」 inさいたま市 盛会に！

当事業は「読みきかせ」のその先、「子どもたちがひとりで読むこと、物語の世界を楽しむこと」について学ぶ講座です。



特別講師・宮川健郎さん

12月4日（土）JA共済埼玉ビル（さいたま市）にて、児童文学研究者の宮川健郎さんを講師に迎え、絵本と幼年文学の違い、児童文学や詩の言葉との関わり方など、幼少期の体験も交えてお話しいただきました。84名の参加者からは、ひとり読みに移行する子どもが、幼年文学と出会う大切さを学ぶことができたなど、たくさんの感想が寄せられました。

「子どもたちを物語の世界へ」次回は来年1月22日（土）に岡山市にて、くすのきしげのりさん（児童文学作家）を特別講師に迎えて開催予定です。

各地で講師から直接学ぶことができる喜びの声に応えつつけられるよう、今後も感染状況を鑑みながら開催します。

NEWSについてのお問合せや詳細資料
ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。
JPIC HPアドレス：<https://www.jpic.or.jp>
賛助会員様のイベント情報を発信します！